

借入金管理特別会計款別一覽表

歳入

区分 款別	予		算	現	額	
	当初予算額		補正予算額	繰越事業費 繰越財源 充当額	計	
	金額	構成比			金額	構成比
1 繰入金	20,823,841,000	58.5%	42,947,000		20,780,894,000	59.7%
2 市債	14,777,400,000	41.5	1,817,600,000	1,080,800,000	14,040,600,000	40.3
歳入合計	35,601,241,000	100.0	1,860,547,000	1,080,800,000	34,821,494,000	100.0

歳出

区分 款別	予		算	現	額
	当初予算額		補正予算額		繰越事業費 繰越額
	金額	構成比			
1 繰出金	14,777,400,000	41.5%	1,817,600,000		1,080,800,000
2 公債費	20,823,841,000	58.5	42,947,000		
歳出合計	35,601,241,000	100.0	1,860,547,000		1,080,800,000

(単位 円)

調 定 額		決 算 額				不 納 欠 損 額	収入未済額		還 付 未 済 額
金 額	構成比	収入済額	構成比	調定額 対 比	予算現 額 対 比		金 額	構成比	
20,775,863,733	62.8%	20,775,863,733	62.8%	100.0%	100.0%				
12,315,900,000	37.2	12,315,900,000	37.2	100.0	87.7				
33,091,763,733	100.0	33,091,763,733	100.0	100.0	95.0				

(単位 円)

計		決 算 額			翌 年 度 繰 越 額	不 用 額	
金 額	構成比	支出済額	構成比	予算現 額 対 比		金 額	構成比
14,040,600,000	40.3%	12,315,900,000	37.2%	87.7%	507,500,000	1,217,200,000	99.6%
20,780,894,000	59.7	20,775,863,733	62.8	100.0		5,030,267	0.4
34,821,494,000	100.0	33,091,763,733	100.0	95.0	507,500,000	1,222,230,267	100.0

平成28年度借入金管理特別会計繰越明許費決算調書

事業名 一般会計への繰出金

一般会計の補正に伴い年度内に予算化したが、年度内執行が不可能なことから、事業費を繰り越したものである。
この繰越事業費に係る歳入歳出決算の状況は次のとおりで、本繰越事業は完了した。

歳入

(単位 円)

款項	科目		繰越事業費 繰越財源 充当額	収入済額	支出済額への 充当額
	目	節			
2	市	債	1,080,800,000	660,300,000	660,300,000
	1	市債	1,080,800,000	660,300,000	660,300,000
		6教育債	1,080,800,000	660,300,000	660,300,000
		1教育債	1,080,800,000	660,300,000	660,300,000
計			1,080,800,000	660,300,000	660,300,000

歳出

(単位 円)

款項	科目		予算現額			支出済額	不用額
	目	節	繰越事業費 繰越額	流増 減額	計		
1	繰出金		1,080,800,000		1,080,800,000	660,300,000	420,500,000
	1	市債繰出金	1,080,800,000		1,080,800,000	660,300,000	420,500,000
		1一般会計 繰出金	1,080,800,000		1,080,800,000	660,300,000	420,500,000
		28繰出金	1,080,800,000		1,080,800,000	660,300,000	420,500,000
計			1,080,800,000		1,080,800,000	660,300,000	420,500,000

平成29年度借入金管理特別会計繰越明許費繰越調書

事業名 一般会計への繰出金

一般会計の補正に伴い年度内に予算化したが、年度内での事業完了が不可能なことから、事業費を繰り越したものである。

款 1 繰出金

項 1 市債繰出金

目 1 一般会計繰出金

(単位 円)

節	翌年度 繰越額	左 の 財 源 内 訳				
		既 収 入 財 源	未 収 入 財 源			そ の 他
			国 庫 支 出 金	都 支 出 金	市 債	
28 繰 出 金	507,500,000				507,500,000	

(単位 円)

借入金管理特別会計歳入

(予算現額) 当年度決算額
<前年度決算額>

1 繰入金

他会計繰入金	財政課 下水道課	(20,780,894,000) 20,775,863,733 <21,299,582,699>
(1) 一般会計繰入金	12,571,732,692	
(2) 下水道事業特別会計繰入金	7,657,478,948	
(3) 土地取得事業特別会計繰入金	80,024,181	
(4) 駐車場事業特別会計繰入金	466,627,912	
各会計における公債費元金及び利子の繰出額の合計		

2 市債

市債	財政課 下水道課	(14,040,600,000) 12,315,900,000 <13,265,600,000>
(1) 民生債	547,400,000	
(2) 衛生債	524,300,000	
(3) 土木債	2,585,400,000	
(4) 消防債	270,600,000	
(5) 教育債	1,475,500,000	
(6) 臨時財政対策債	4,900,000,000	
(7) 下水道債	2,012,700,000	
借入先内訳は、68・69、529ページのとおり		

(単位 円)

借入金管理 特別会計		主要な施策の成果・事務報告書		(予算現額) 当年度決算額 <前年度決算額>	
決 算 額	繰 入 金	市 債			執 行 率
33,091,763,733	20,775,863,733	12,315,900,000			95.0%

<p>本会計で収入した各会計の市債について、同額を各会計に繰り出すとともに、各会計の市債の元金および利子の償還を本会計で一括して行うことで、市債管理の透明性を高めた。</p> <p>なお、一般会計の補正に伴い年度内に予算化したが、年度内での事業完了が不可能なことから、事業費の一部を翌年度に繰り越した。また、前年度から繰り越した本事業については、計画どおり完了した。</p> <p>【繰越明許費分は558・559ページ参照】</p>		
1 繰出金	財政課	(14,040,600,000) 12,315,900,000
	下水道課	<13,265,600,000>
		市債 12,315,900,000
		うち繰越明許費分《660,300,000》
(1) 一般会計への繰出金	10,303,200,000	
(2) 下水道事業特別会計への繰出金	2,012,700,000	
平成28年度繰越明許費分《660,300,000》を含む。		
平成30年度への繰越明許費分 507,500,000 を含まず。		
2 公債費	財政課	(20,780,894,000) 20,775,863,733
	下水道課	<21,299,582,699>
		繰入金 20,775,863,733
(1) 元金		
ア 一般会計元金	11,421,106,255	
イ 下水道事業特別会計元金	6,201,168,997	
ウ 土地取得事業特別会計元金	78,457,500	
エ 駐車場事業特別会計元金	448,136,203	
(2) 利子		
ア 一般会計利子	1,150,626,437	
イ 下水道事業特別会計利子	1,456,309,951	
ウ 土地取得事業特別会計利子	1,566,681	
エ 駐車場事業特別会計利子	18,491,709	
現債額及び償還額は22～25ページのとおり		

翌年度へ繰越し 0円